

福利厚生委員会だより

■ 趣味の教室

令和2年度の予定

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、趣味の教室は6月22日(月)からの開催となります。さろんと同時開催することが定着し、さろんの参加者が趣味の教室に参加するなど相互の関係はよいものになっています。

また、参加者は1回制なので気楽に参加ができ、都合に合わせてできるので喜ばれています。

どちらの教室も参加者が定着し、参加者同士の交流もいっそう、深まっているようです。

小人数でも続けて開講していることで相互の居場所づくりになっているようです。

女性の会「ひまわり」



■ 活動報告とお知らせ

担当理事 井上美代・松本久美子

●報告---《～女性の会「ひまわり」の研修会～》を開催

令和2年2月14日(金)、午前8時30分出発で、京都嵐山方面へ研修に行きました。

今回は精華町の新しいバスを利用して27名の会員は、まずは華巖寺へ。こちらは、わらじを履いたお地藏さまが歩いて願い事を叶えてくれるという珍しいお寺です。

バスをおりて徒歩で10分、景色を楽しみながら80段の石段をのぼりお寺をめざしました。

そして、住職さんのありがたい説法を聴くことができました。ありがたいお話しなのに・・・笑いが絶えません。

漫談説法といわれる話題のお寺でもあります。

ところどころに沁みる言葉あり、笑いありと、あっという間の30分でした。

昼食会場では、交流のなかった会員同士がおいしい料理を前に会話がはずんでいました。

そのあと、1時間程度でしたが、嵐山駅周辺の自由散策も楽しめました。日本刺繍の美術館の見学にも行きました。絵画か写真かで見間違ふほど見事な作品が飾られていて、会員からは感嘆の声がもれていました。

美術鑑賞の後は、お抹茶とお菓子をいただき、お土産を買ってみんな無事に帰路につきました。



手づくり布マスクを届けました

新型コロナウイルス感染症の拡大により、マスクの需要が急激に増えたため、マスクを手に入れることが困難になっています。そのため、ボランティアで「マスクを手作りしてほしい」との依頼が精華町役場よりシルバー人材センターにありました。そのため、出島良子会員、本島陽子会員、津野育子会員に参加いただき、5月18日(月)に、できあがったマスク65枚を精華町役場に届けました。目標枚数は500枚です。

